



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和4年9月20日
文責：校長 江上 知男



早朝作業ありがとうございます！

またもや台風…被害はありませんか？

9月17日からの3連休…台風14号に直撃され、場所によっては大きな被害が出ています。学校は、校庭の大楠の枝が敷地内外に散乱するくらいで、幸いなことに大きな被害はありませんでした。地域に被害はありませんでしたか？

連休明けの9月20日(火)は、偶然にもPTA美化委員会の「作業日」でした。早朝から美化委員さんがそれぞれの予定に合わせて来校され、台風の後始末をしていただきました。本当に本当に助かりました。ありがとうございました。

ところで、今回直撃した台風について「経験したことがないような暴風・高潮・記録的な大雨のおそれ」という前触れでしたので、さすがに恐ろしかったです。熊本市東区画図という低地に住んでいる私にとって、暴風も怖いですが、特に水害は決して人事とは思えず、「自分もいつか同じ体験をするのではないか」と常に考えています。

嘉島町も、場所によって様々な「災害リスク」があると思います。町のホームページには「嘉島町地域防災計画」に加え、「嘉島町洪水ハザードマップ」が掲載されています。ちなみに、嘉島西小学校は指定緊急避難所兼指定避難所です。ぜひ、ご家族みんなで防災計画やハザードマップの確認をしていただきますようお願いいたします。天災は「忘れた頃にやってくるもの」ではなく、「常にそこにあるもの」だと感じます。みんなで「心の備え」をしておきましょう。

「プログラミング」を学んでいます！

9月15日・16日に講師(ロボファーム・森川さん)を招いて、5年生がプログラミングの学習を行いました。

「プログラミング学習」とは、「コンピュータに命令する方法を学ぶこと」であり、一昨年度から小学校で「必修」となりました。ただ、教科が新設されたわけではなく、従来の教科(国語・算数・理科・社会・総合的な学習等)のなかで学んでいきます(今回は「総合」でした)。そして、決して専門的な勉強をするわけではなく、「プログラミング的思考を身に付けること」が目的です。



プログラムうまくいったかな？

それでは「プログラミング的思考」とは何でしょう??それは「物事を論理的に考える力」のことだそうです。コンピュータは指示されたとおりにしか動作しないことから、コンピュータに命令するプログラミングは「必要な動作を理解し、どのような指示を与えるべきか考えること」が求められます。それを繰り返すことで、「目的(意図)を的確にとらえ、論理的に考えることができる力」が高まるのだそうです。

長い前置きになりましたが、5年生の学習の様子を見せてもらいました。内容は「ロボットカーを自分たちの命令で動かす」というものです。「左右の車輪を動かす」「ぶつかりそうになったら止まる」等の命令をタブレットで設定して、そのプログラムをロボットカーにダウンロードして動かしていました。それにしても、子どもたちの楽しそうなこと…。「うまくいった度合い」はそれぞれでしたが、タブレットやロボットカーなど「本物に触れていること」が子どもたちの興味・関心を高めているのだと感じました。それでは、プログラミング的思考が高まったのでしょうか? …まだまだ積み重ねが必要のようです。